

代表作から新作まで過去最大規模の約70点が集う、特別な春。



「光を聴くよ」2019年

手塚雄二展

光を聴き、風を視る

2019年 3月5日 火 — 18日 月

日本橋高島屋S.C. 本館8階ホール

ご入場時間 午前10時30分～午後7時(午後7時30分閉場)。※最終日は午後5時30分まで(午後6時閉場)。

一般 1,000円(800円) 大学・高校生 800円(600円) 中学生以下無料

入場料
(税込)

※()内は前売り及び団体10名様以上の割引料金。

※前売券はローソンチケット(Lコード: 31386)にて3月4日(月)までお求めいただけます。

※本展は「障がい者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様は入場無料とさせていただきます。

主催:日本経済新聞社

 Takashimaya S.C.
NIHOMBASHI

代表作から新作まで 過去最大規模の約70点が集う、特別な春。

手塚雄二展

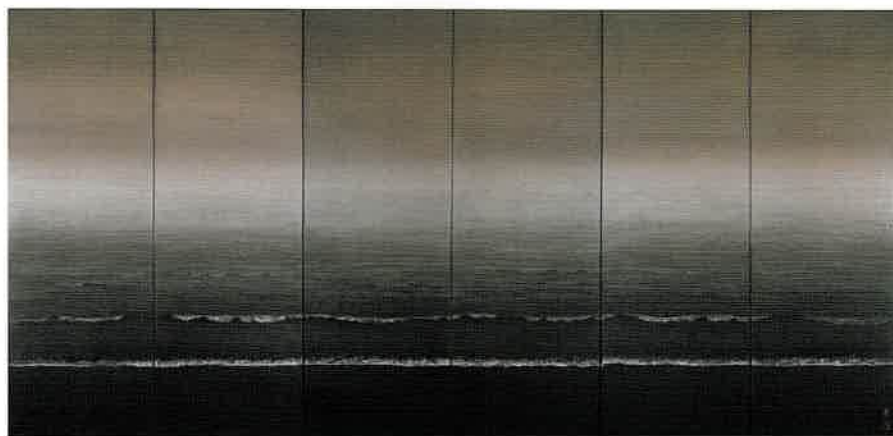
光を聴き、風を視る 展

2019年 3月5日 火 — 18日 月

日本橋高島屋S.C. 本館8階ホール

光や空間を表現する西洋的な技法も取り入れ、日本の伝統美を高純度かつスマートな感性で流麗に描き上げ、新時代の日本画を切り拓く画家・手塚雄二。

1953年神奈川県に生まれ、東京藝術大学在学中に院展に初入選、故・平山郁夫に師事し、39歳の若さで日本美術院同人に推挙されるなど、早くから21世紀を担う日本画壇の旗手として嘱望され、今や現代日本画壇を牽引するトップレベルの作家として活躍しています。今回、日本橋店では初期の幻想的な作品から、「静と動」「虚と実」「煌びやかさと物哀しさ」など相反するイメージが自然と融合する作品、「内なる自然」「内なる宇宙」の探求へと向かう最新作まで過去最大規模の約70点を展覧いたします。



「海霧」2003年



「気」1984年



「こもれびの坂」1996年



「秋麗」
2015年



「少女季」1984年



「新緑の沼」2017年、足立美術館蔵



「ブルックリンの雨」
2010年 株式会社サンロード蔵